



	社会人リカレント教育 履修モデル	公共政策 履修モデル	法務系公務 組織内法務 法専門職 履修モデル	博士課程進学 履修モデル	修了要件(修得単位)	
授与される学位	修士(法学)	修士(法学)	修士(法学)	修士(法学)		
修了審査	公開成果発表会・審査・最終試験(口頭試問を含む)				単位	30以上
	リサーチペーパー	修士論文	修士論文	修士論文		
6 研究指導	★法律学研究指導 1・2 または ★政治学研究指導 1・2	★法律学研究指導 1・2 または ★政治学研究指導 1・2	★法律学研究指導 1・2	★法律学研究指導 1・2 または ★政治学研究指導 1・2	2	4
5 キャリア形成科目	★法務プロジェクト演習 または ★政策プロジェクト演習	◆インターンシップ	◆インターンシップ	★刑事法研究演習ほか または ★政治学研究演習		
4 専門科目(演習系)	◆公法特殊講義 Ⅲ ◆民法特殊講義 I~IV ◆応用法特殊講義 I ◆国際関係法特殊講義 II ◆政治学特殊講義 IV・V	★公法研究演習 または ★政治学研究演習	★民法研究演習 または ★法務プロジェクト演習	※自らの知的問題意識に応じてその専門領域 を中心に高度な専門教育と個別指導を受け、 研究能力を獲得することを目指す。	2	21 他コース・他専攻科目は 5単位まで充て可
3 専門科目(講義系)		◆公法特殊講義 I~Ⅲ ◆民法特殊講義 I・II ◆政治学特殊講義 I・II・Ⅲ・VI	◆公法特殊講義 I・II ◆民法特殊講義 I~IV ◆刑事法特殊講義 I・II ◆応用法特殊講義 I	◆基礎法学特殊講義 I・II ◆公法特殊講義 I~Ⅲ ◆刑事法特殊講義 I・II ◆応用法特殊講義 II ◆国際関係法特殊講義 I		
2 専攻基礎科目	★法文学研究基礎 ★プロフェッショナル・リサーチ&ライティング				1	2
1 研究科基礎科目	●人文社会科学総合(法学) ●人文社会科学総合(人文学) ●人文社会科学総合(地域産業社会) ●研究フィールド実践				1	3

		社会人リカレント教育 履修モデル *文化人類学の場合	人間文化分野 履修モデル *日本歴史文化論の場合	言語文化分野 履修モデル *英米コミュニケーション論の場合	博士課程進学 履修モデル *思想文化論の場合		
活躍が期待される進路		▶原職復帰 ▶キャリアアップ ▶ジョブチェンジ	地域文化の振興に係わる ▶公務員・企業人等	外国語運用能力等に係る 業務・職務に携わる ▶公務員・企業人等	▶博士課程進学者		
授与される学位		修士(人文学)	修士(人文学)	修士(人文学)	修士(人文学)	修了要件(修得単位)	
修了審査		公開成果発表会・審査・最終試験(口頭試問を含む)				単位	30以上
		リサーチペーパー	修士論文	修士論文	修士論文		
6	研究指導 各分野の深い知識と探究力・実践力を活かし、研究成果をまとめる。	★人間文化研究指導 1・2	★人間文化研究指導 1・2	★言語文化研究指導 1・2	★人間文化研究指導 1・2	2	4
5	キャリア形成科目 高度な専門知識を活かして社会で働くことの意義、専門知識の実践的な展開について学ぶ。	★文化人類学研究演習 ★社会人間論研究演習 ★社会文化論研究演習	◆インターンシップ ★日本歴史文化論研究演習 ★日本歴史交流論研究演習 ★アジア社会史研究演習	◆インターンシップ ★英米コミュニケーション論研究演習 ★英語動態論研究演習 ★英語習得論研究演習	★思想文化論研究演習 ★人間存在論研究演習 ★ヨーロッパ歴史文化論研究演習 ※博士課程進学のため、専門分野を中心とした専門科目を履修し、高度な専門的知識及び研究能力の獲得を目指す。	2	21 他コース・他専攻科目は5単位まで充て可能
4	専門科目(演習系) 各分野の専門知識を実践し、探究力・実践力を身に付ける。	◆文化人類学研究 ◆社会人間論研究 ◆社会文化論研究	◆日本歴史文化論研究 ◆日本歴史交流論研究 ◆アジア社会史研究	◆英米コミュニケーション論研究 ◆英語動態論研究 ◆英語習得論研究	◆思想文化論研究 ◆人間存在論研究 ◆ヨーロッパ歴史文化論研究		
3	専門科目(講義系) 各分野の修得に必要な専門知識を深める。						
2	専攻基礎科目 法文学専攻における学究の基礎を身に付ける。	★法文学研究基礎 ★プロフェSSIONAL・リサーチ&ライティング				1	2
1	研究科基礎科目 人文社会科学研究科に必要な基礎的な知識等を身に付ける。	●人文社会科学総合(法学) ●人文社会科学総合(人文学) ●人文社会科学総合(地域産業社会) ●研究フィールド実践				1	3